

公民館における 学校との連携事業

「地域で子どもを育てる」浦安市では、公民館をはじめとした生涯学習施設で子ども向けの講座やイベントを行っています。今回は、学校と連携した2つの事業を紹介します。



市内の各公民館では、さまざまな子ども向け事業が実施されています。そのようなかで、堀江公民館主催の講座「科学実験！『光の学習』」は、堀江中学校科学部の生徒が講師となり、小学生41名に教えるというユニークな企画でした。

暗闇の中に光ファイバーを通して美しい星座が浮かび上がると、小学生から歓声が上がりました。その後、光ファイバーの原理を小学生にわかるように説明して、実際に星座盤作りに入りました。子どもたちは、中学生に教わりながら完成させると、きれいに光る星座に大喜びでした。

科学部副部長の市川颯太郎さんは、「小学生に光ファイバーの仕組みをわかつてもらうことや星座盤作製の手伝いなど、人に教えるのは大変でした。でも、小学生が喜んでくれたので、自分たちも楽しくなってきました。機会があれば、また教えてみたい」と講座の感想を述べました。



全速力でゴールを目指す！



高学年の講座

調査結果が楽しみです。館長。今年の5月に行われる

中学生が講師！公民館の小学生向け事業 堀江公民館で堀江中学校科学部生徒の講座

富岡公民館と富岡小学校による学校支援連携事業 ランニング講座「美走塾」

平成24年から、小学生を対象としたランニング講座「美走塾」がスタートしました。当初は20名の定員でしたが、申し込み希望者が多かったため、昨年6月からはじまった第1回の講座は高学年、11月からの第2回の講座は低学年を対象に開催されました。

「ランニング」の基本を子どもたちに習得してもらい、調査項目の記録向上と体力増進を目指したいと、元長距離ランナーだった富岡公民館の指田館長が発案、富岡小学校が協力する形で実現しました。「この『美走塾』だけでなく、他のエリアの小学校にも公民館として協力できることを提案しています。今後は保護者の方の協力も得て、長いスパンでしっかり目的を持って学校と地域が連携できる事業を続けていきたい」と指田館長。今年の5月に行われる

市内小・中学校のPTA活動

浦安市内の各PTAでは、保護者・学校・地域が連携して、子どもたちの健全育成につながるさまざまな特色ある活動が行われています。

浦安小学校が「優良PTA 文部科学大臣表彰」を受賞

浦安小学校PTAは、長い歴史の中で伝統を受け継ぎ、子どもたちの体験活動など地域と密着した活動を行ってきました。その実績が認められ、昨年11月に「優良PTA文



保護者と一緒に子どもたちもよく働いています

部科学大臣表彰」を受賞しました。その活動の一つに、資源回収があります。浦安小学校PTAでは、子どもと保護者で年10回程度実施しています。これは、「PTAとして地域との関係を深める」ことを目的に自主的な取り組みとして始まりました。

取材した日も、保護者と子どもたちがリヤカーを引いて回っていました。各家の前に出された古新聞などを回収すると、地域の方から「ありがとう、よろしくね」



優良PTA文部科学大臣表彰を受け、喜びの安達PTA会長(右)と明保校長

とねぎらいの言葉をかけられ、子どもたちもうれしそうでした。活動を通じて、働くことの大切さや地域への愛着が高まっているようでした。この活動で集まったお金は、夏祭りやバスハイクなどに使われており、子どもたちや地域に還元されています。

浦安小学校PTAでは、そのほかにも運動会やふれあい祭りなどの行事でも、PTAが学校と協力して活動しています。

美浜中学校PTA 「園芸部」

美浜中学校の入学式・卒業式では、生徒がすてきな生花のコサージュをつけて入場します。

そのコサージュの仕掛人が「美浜中学校PTA園芸部」の皆さんです。

「きれいな花を見て生徒も先生も心をなごませてほしい」との思いから、有志でボランティア



談笑しながら楽しく作業をする皆さん

活動を始めたのがきっかけです。「できるときに、できる人が、できる範囲で」と、気軽な気持ちで始めて、14年が経ちました。その後「学校で育てた花で子どもたちを送り出したり、迎えたい」と、コサージュ作りが始まりました。今では、生徒が自ら志願して花の手入れやコサージュ作りの手伝いをしてくれるようになりました。

子どもが卒業するとPTAも卒業となってしまいますが、園芸部ではその後もOGとして活動しています。OGは母親の先輩としても、現役ママへのよきアドバイザーとなっていて、すてきな関係を築いています。